

平成30年度受入れ説明会

聖隷浜松病院 受入事例発表

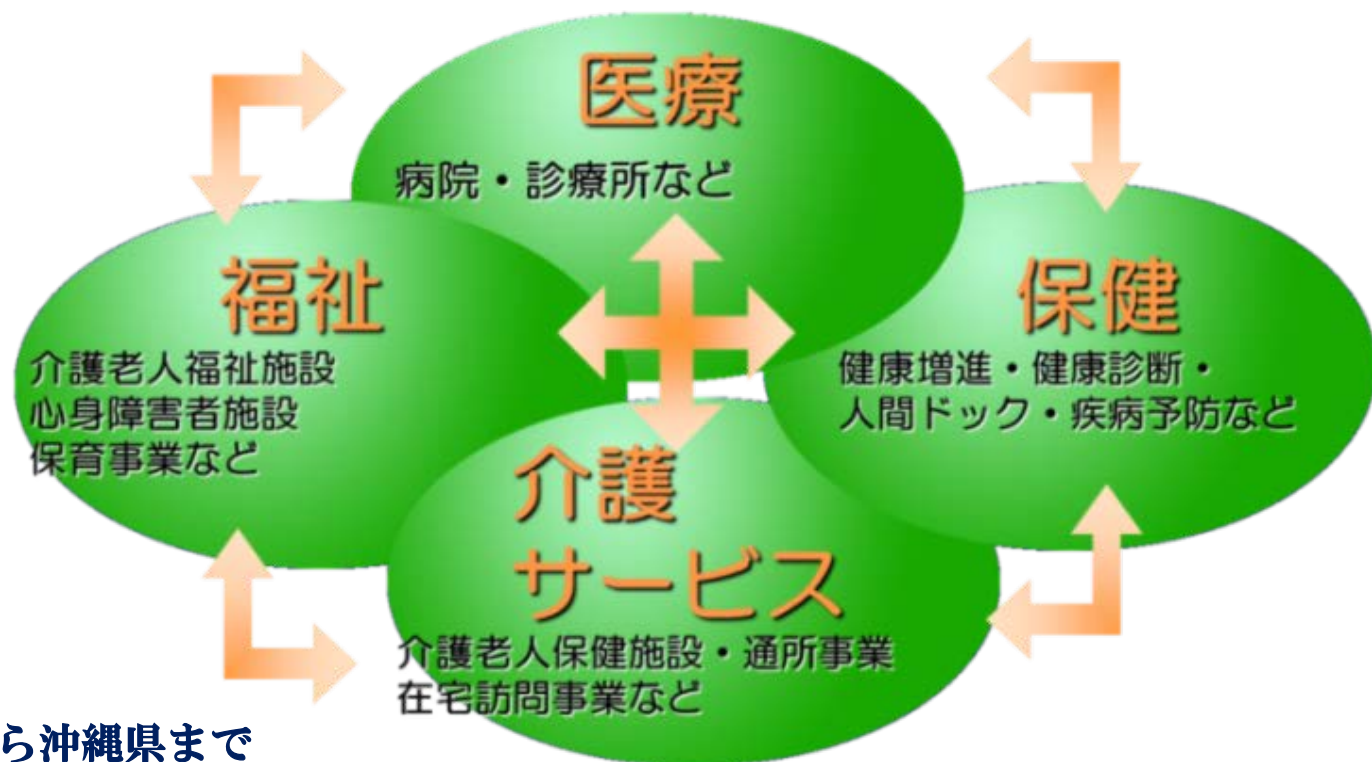
2017年4月10日

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

事務長 服部 東洋男

聖隷福祉事業団の事業概要



千葉県から沖縄県まで

全154施設 315事業

(2017年4月開設予定含む)

常勤職員数：9,657人

うち、医師：648名・看護師：3,012名

(非常勤含む13,850人)

2017年2月現在



- 病 院:7 【2905床】
- 診 療 所:7
- 健 診 施 設:4
- 有料老人ホーム等*: 12 【3,149戸】
- 特別養護老人ホーム:18
- 介護老人保健施設 :3
- 軽費老人ホーム :4
- 身体障害者療護施設・救護施設等:25
- 保育園・こども園:14
- 訪問看護ステーション:17
- その他在宅サービス事業:42



2015年度 実績

総健診受診者数	581,984人/年
総入院患者数	861,097人/年
総外来患者数	1,265,162人/年
総手術件数(入外)	20,774件/年
サービス活動収益	1,055億円



静岡県浜松市





静岡県浜松市



自動車・音楽関連産業



総合病院 聖隷浜松病院



設立：1962年3月
院長：鳥居 裕一
病床数：750床

職員数

診療部門：263人 看護部門：1,125人 医療技術部門：353人 事務部門：283人
合計：2,024人 (2016年4月1日現在)

総合病院 聖隷浜松病院

手術室



手術室

15室

手術件数

10,222件

救命救急センター



救急車受入件数

6,575件

総合周産期母子医療センター

産科部門

新生児部門

母体搬送

138件

NBA出動回数

222件



(2015年度)

聖隷福祉事業団

EPA看護師・介護福祉士候補者受入れ実績



看護師候補者



介護福祉士候補者

EPA看護師受入状況及び合格実績

	入国年度	訪日前 日本語 研修	訪日後 日本語 研修	受入れ 人数	退職者 帰国者	合格者			在職者	
						1回目	2回目	3回目	候補者	看護師
1期生	2011年度	2ヶ月	6ヵ月	5名	4名	0名	0名	1名	0名	1名
2期生	2012年度	3ヵ月		2名	0名	0名	2名		0名	2名
3期生	2013年度	6ヵ月		4名	1名	0名	3名	1名	0名	3名
4期生	2014年度			4名	2名	0名	3名		0名	2名
5期生	2015年度			5名	0名	0名	3名		2名	3名
6期生	2016年度			2名	0名	0名			2名	
合計				22名	7名	13名			4名	11名
						0名	11名	2名		

受入実績 22名

受入実績のうち **合格者：13名**（帰国者含む）

退職者・帰国者：7名（自己都合による退職・帰国）

EPA介護福祉士候補者

受入れ状況及び合格実績

	入国年度	受入れ人数	帰国者	合格者
就学1期生	2009年度	1 (資格取得)	0	
1期生	2009年度	4	4	0
2期生	2010年度	5	0	5
3期生	2011年度	4	3	2
4期生	2012年度	4	0	4
5期生	2013年度	2	0	2
6期生	2014年度	2	0	
7期生	2015年度	7	0	
8期生	2016年度	8	0	
合計		37	7	13
9期生	2017年度 (予定)	17	0	

EPA看護師候補者受入れ体制



支援体制

当院 EPA支援チーム

- 看護師：1名
- 事務職員：2名

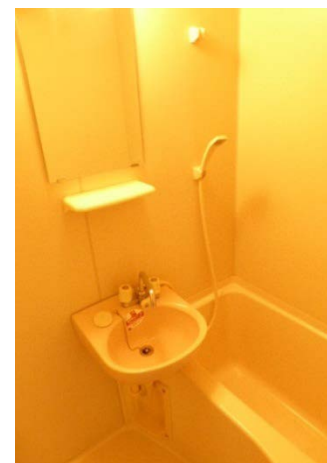
- 国家試験対策学習の支援・・・EPA担当看護師
- 日本語学習の支援・・・事務職員（日本語教師）
- 看護補助者業務の支援・・・職場長・職場職員
（EPA担当看護師）
- 生活及び精神面の支援・・・事務職員・EPA担当看護師

EPA看護師候補者寮

※イメージ写真



- *ワンルーム
(キッチン・バスルーム・家具付)
- *病院から徒歩 5分~10分
- *インターネット利用可能



その他の処遇

●プレゼント

- ・自転車

●無料貸与

- ・日本での勉強に必要な教材（もしくは支給）
- ・ノートパソコン
- ・電子辞書
- ・ユニフォーム



※ノートパソコン、電子辞書は合格後プレゼント

支援方法

ステップ1：

国家試験に合格するためのプログラムの実施

(国家試験合格までは看護補助者として働く)



国家試験合格



①国家試験対策学習

②日本語学習

- ・国家試験のための日本語
- ・一般日本語（N3レベルの定着）

③職場適応

ステップ2：

EPA看護師のためのサポートを実施



当院で看護師として働き続ける

学習支援・候補者スケジュール

●勤務：月～金曜日

3.5時間

4時間

7.5時間

	配属時～2年目10月 (約11ヵ月)	2年目11月～12月 (1ヵ月)	2年目12月～国家試験 (2ヶ月半)
8:30～9:00	日本語学習	病棟で 看護補助者業務 ・患者搬送 ・ベッドメイキング ・清拭 ・食事介助等	テスト
9:00～11:00	振り返りテスト 看護師 国家試験対策授業		・振り返り ・自己学習
11:00～12:00			授業
12:00～13:00	昼食		
13:00～14:00	病棟で 看護補助者業務 ・患者搬送 ・ベッドメイキング ・清拭 ・食事介助等	テスト	テスト
14:00～16:00		・振り返り ・自己学習	・振り返り ・自己学習
16:00～17:00		授業	授業
<自宅学習>			

●休日：土・日・祝日・年末年始

日本語学習

授業

- 1時間/日（週5日）

テスト

- 配属時
- 配属6ヶ月後
- 国家試験受験後

月	火	水	木	金	宿題
聴解 文法	語彙 文法	漢字 文法	語彙 文法	漢字 文法	作文 漢字の書き取り

日本語学習

目標

技能	目標
聞く	日本人が話すスピードに慣れる
話す	自分の意見や気持ちを自分の言葉で伝えることができる 話す相手によって適切な言葉を選ぶことができる 相手の言ったことに対して適切な返答ができる
読む	看護記録等、まとまった文章を読み解くことができる
書く	日本語でメモをとることができる 起承転結を意識して書くことができる 書き言葉と話し言葉を使い分けることができる

学習項目

総合日本語	専門日本語	社会文化適応	職場適応
◆日常生活場面で必要な日本語学習	◆国家試験に関する言葉の読み方や意味 ◆専門用語と一般的な日本語の使い分け	◆日本に関する一般的な知識 ◆日本地図 ◆擬態語 ◆慣用句・ことわざ	◆名前の読み方 ◆職場マナー

日本語学習 使用教材 (一部)



国家試験対策学習

時期	授業内容	看護師になるための学習
2013年12月～2014年9月 2014年2月 第103回看護師国家試験（1回目）	参考書・過去問題テキスト 振り返りテスト まとめテスト（各章ごと）	看護記録練習 パソコン操作訓練 摂食介助講義受講・実習（8月から）
2014年9月～2014年12月	模擬試験・予想問題 （30問程度/日）	アナムネーゼ聴取実習
2015年1月～2015年2月 第104回看護師国家試験（2回目）	模擬試験・予想問題（2回目） （30問程度/日） 弱点強化・最終調整	
2015年2月～2015年10月	参考書・過去問題テキスト総復習 まとめテスト（各章ごと）	看護記録練習 パソコン操作訓練 摂食介助講義受講・実習（8月から） アナムネーゼ聴取実習（9月から）
2015年10月～2015年12月	模擬試験・予想問題 （30問程度/日）	
2016年1月～2016年2月 第105回看護師国家試験（3回目） 合格！！	模擬試験・予習問題（2回目） （30問程度/日） 弱点強化・最終調整	

国家試験対策学習 使用教材 (一部)



授業で工夫した点

- 日本語を日本語で理解してもらう
- 習った語彙を使って病棟での声かけを考える時間を作る
- 指導者からの講義を聞くだけでなく、候補者が考えて発言する機会を増やす
- 参考書以外の教材を資料として用いる

苦勞した点

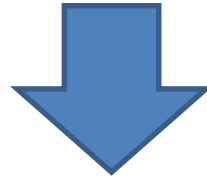
- 文化や習慣、考え方の違い
- 受入れ年度別に候補者個別の対応が必要
- 学習支援体制の見直し
- 国家試験対策授業と看護師になるための学習の両立
- 候補者及び担当者のモチベーションの維持

日本語学習支援強化

日本語能力評価

2011年11月～2016年2月

日本語能力検定試験を日本語能力評価の一部として活用



2016年2月～

日本語能力検定試験＋日本語能力評価スケール（当院作成）

自己評価＋職場長評価＋担当者評価により総合的に評価

業務拡大の判断材料としても活用

候補者の学習意欲への介入

候補者の不安・意欲減退の理由：

- テキストや問題集を自力で解読することが困難
- 自己学習目標及び学習計画の立案が困難
- 日本語のコミュニケーションが困難
- 効果的な学習方法を見出すことが困難
- 学習期間が長期に渡ることによるマンネリ
- 家族状況の変化

候補者の学習意欲への介入

2011年11月～2013年6月

- 面接実施（1回/月）（仕事・学習・生活で困っていることについて）
- 看護師業務の見学（2職場）
- 日本に来た目的を確認する



2013年7月～

- 面接実施（1回/月）（仕事・学習・生活で困っていることについて）
- 看護師業務の見学（2職場）
- 日本に来た目的を確認する
- **看護観や興味のある看護領域について語り合う**

学習以外の支援

- 定期面接実施（1回/月）
（仕事・学習・生活で困っていることについて）
- 看護師業務の準備（看護記録の入力練習等）
- 自己学習部屋の貸出し
- 候補者の相談窓口の設置
（宿舎の不具合の相談、家族の相談、体調の相談等）
- イベントの開催

当院で働き続けてもらうために…

- 配属先職場スタッフによる支援
- EPA看護師のためのプログラム実施
- 個別日本語学習支援（希望時）
- 相談窓口の設置
（宿舎の不具合の相談、家族の相談、体調の相談等）

今後の活躍に期待しています!!

